

【資料編】

(資料 1)

●「全国の初詣ランキングトップ 10」 (2024/調)

出典：HP 巡縁

ランキング	寺社	人数 (約)
第 1 位	<u>明治神宮</u>	319 万人
第 2 位	<u>成田山新勝寺</u>	311 万人
第 3 位	<u>川崎大師(平間寺)</u>	308 万人
第 4 位	<u>浅草寺</u>	293 万人
第 5 位	伏見稲荷大社	277 万人
第 6 位	住吉大社	260 万人
第 7 位	<u>鶴岡八幡宮</u>	251 万人
第 8 位	熱田神宮	235 万人
第 9 位	<u>大宮氷川神社</u>	205 万人
第 10 位	太宰府天満宮	204 万人

(資料 2)

●「節分行事」

出典：各寺社 HP

★1 位・明治神宮

- ・明治神宮では、豆まきなどの行事はございません。 家内安全・除災招福を祈念する特製「福豆」をおわけしています。

★2 位・成田山新勝寺

- ・恒例の成田山新勝寺 2024 年の「豆まき」に参加したのは、大河ドラマ「光る君へ」で紫式部役を務める吉高由里子さん、藤原道長役を務める柄本佑（たすく）さんなど。さらに、大相撲の大関・豊昇龍なども参加。

【NHK 大河ドラマ「光る君へ」から参加者】吉高由里子（よしたかゆりこ）さん（紫式部／まひろ役）。柄本佑（えもとたすく）さん（藤原道長役）。岸谷五朗（きしたにごろう）さん（藤原為時役）。吉田羊（よしだよう）さん（藤原詮子役）5 名 ←まさに「番組宣伝」です。

★3 位・川崎大師

- ・「節分会」は、まずは大本堂にて、貫主大導師のもと祈願。その後、境内の特設舞台にて、篤信の年男・年女によって追儼（ついな）の豆まきが行われた。

★4 位・浅草寺

- ・「浅草寺」は、江戸で節分の行事を大々的に行なった最初のお寺とされています。現

在も毎年盛大に行われています。今年の節分会には、林家正蔵さん、林家三平さん、アニマル浜口さん、浜口京子さんら総勢約 70 名の著名人が、本堂東側の特設舞台から升に入った福豆をまきます。

★7位・鶴岡八幡宮

・鶴岡八幡宮の「節分祭」は、本殿（本宮）で祭儀が行われた後、大石段を大紋衣装の年男・年女が舞殿（下拝殿）へと下りてきます。舞殿では、「お祓い」、「鳴弦の儀」が行われた後、福引き付きの豆が撒かれます。福豆拾いへの参加は人数制限があります。

★9位・大宮氷川神社

・当社で豆撒きを行う会の如月会会員、陸奥部屋力士や落語家の柳家小袁治師匠の特別招待者による撒豆式（さんずしき）を執り行います。

(資料 3)

●武蔵国の成田講

出典：「成田山新勝寺史料集第 6 巻」

★文化 2 年（1805）10 月 「講中記」 →新暦 文化 2 年 11 月

	国名	領・郡	村名	現在地	講中
1	武州	八条領	柳之宮村	八潮市柳之宮	利右衛門（1名）
2		八条領	八条村	八潮市八潮	中屋仙次郎（1名）
3		八条領	大原村	八潮市大原	セワ人長右衛門（1名）
4	武州		蒲生村	越谷市蒲生	セワ人卯兵衛、半七、源蔵（3名）
5	武州		花栗村	草加市花栗	新井八郎右衛門
6			久左衛門新田	足立区神明	講中
7	武州	足立郡	花又村	足立区花畑	御神酒講（9名）
8		足立郡	西新井村	川口市西新井宿	中田木左衛門（1名）
9	武州	戸田領	前川村	川口市	釜屋源左衛門、鍵屋勝右衛門（2名）
10			川越石原村	川越市	竹屋兵七、斎藤源兵衛（2名）
11	武州	入間郡	河越鴨町	川越市	鴨町講 若林宇右衛門（1名）

★文政 4 年（1821）10 月 「講中記」 →新暦 文政 4 年 10 月

	国名	領・郡	村名	現在地	講中
1		八条領	八条村	八潮市八潮	セ話人中屋仙次郎（不変）
			(奉納金) (守り札) 切札百枚		
2		八条領	大曾根村	八潮市大曾根	セ話人蓮見長兵衛、小倉七右衛門
			(奉納金) 金百五拾疋 (守り札) 大札六拾枚 (宿) かきや		
3			蒲生村	越谷市蒲生	セワ人卯兵衛、半七、源蔵（不変）

			(奉納金) 金百疋二百文 (守り札) 大札拾六枚 (宿)		
4			花栗村	草加市花栗	セ話人新井八郎左衛門 (不変)
			(奉納金) 金百疋 (守り札) 切札五拾枚		
5		足立郡	花又村	足立区花畑	御神酒講 (9名・不変)
			(奉納金) 金百疋錢三百文 (守り札) 大札拾八枚 小札百七拾六枚		
6		足立郡	戸田村	戸田市	★是ハ春ケ年春度ツツ参詣
			(奉納金) 金百疋三百文 (守り札) 大札三拾枚 (宿) 佐倉屋		
7			川越石原村	川越市	セワ人竹屋兵七、斎藤源兵衛 (不変)
			(奉納金) 金百疋三百文 (守り札) 大札三拾枚 (宿)		
8		入間郡	河越鴨町	川越市	セワ人若林久蔵 ★但春春度ツツ参詣
			(奉納金) 金百五拾疋 (守り札) 大札六拾五枚 (宿)		
9		中仙道	蕨宿	蕨市	世ハ人島田屋万次郎、橋本屋平吉、とき屋武介
			(奉納金) 金百疋四百文 (守り札) (宿) 糸ひ屋		
10			粕壁宿	春日部市	セワ人米屋文七、金子市兵衛、文間屋源七
			(奉納金) 金百疋五百文 (守り札) 大札三拾枚 (宿)		

★天保 13 年 (1842) 「諸国講中記」

	国名	領・郡	村名	現在地	講中番号	二郷半領通過
1	武州	川越道中	白子村	埼玉県和光市白子	九十二	
2	武州	入間郡	城村	埼玉県所沢市	九十三	
3	武州	草加宿	同行	埼玉県草加市	九十六	●
4		岩槻	横町杉並町	埼玉県さいたま市岩槻区	九十九	
5	武州	比企郡	小河町	埼玉県比企郡小川町	九十九	
6		粕壁宿	門出組講	埼玉県春日部市	百壹	●
7	中山道	熊ヶ谷宿		埼玉県熊谷市	百一	
8		草加宿	四丁目五丁目講	埼玉県草加市	百二	●
9	武州	幸手領	佐左衛門	埼玉県北葛飾郡杉戸町	百十八	●
10	武州		風渡野	埼玉県さいたま市風渡野	百廿一	
11	中山道	大宮		埼玉県さいたま市	百廿四	
12	中山道	蕨宿	山奉納	埼玉県蕨市	百廿七	
13	武州	比企郡	松山町	埼玉県東松山市松山町	百廿八	
14	武州	粕壁	新宿組	埼玉県春日部市	百廿八	●
15	日光道中	幸手宿	馬之助町	埼玉県幸手市	百廿九	●

(資料4)

●二郷半領の講

★文化2年(1805)10月 「講中記」 →新暦 文化2年11月

	国名	領・郡	村名	現在地	講中
①		式合半	●四番村	三郷市	願主七郎左衛門、伊右衛門、源右衛門(3名)
②		式合半	●彦成村	三郷市彦成	月参講中 (家数 100戸)

★文政4年(1821)10月 「講中記」 →新暦 文政4年10月

	国名	領・郡	村名	現在地	講中
①		式合半	●四番村	三郷市	セ話人七郎左衛門、伊右衛門、源右衛門(不変)
			(奉納金)金百疋 (守り札)大札七拾五枚		
②		二合半領	●戸ヶ崎村	三郷市戸ヶ崎	月参講中 加藤留五郎、竹内紋右衛門、浜島半右衛門 (家数 113戸)
			(奉納金)金百五拾疋四百文 (守り札)大札九拾貳枚 (宿)糸ひ屋		

★天保13年(1842) 「諸国講中記」

	国名	領・郡	村名	現在地	講中番号	居住戸数
①		二合半領	●前谷村	三郷市戸ヶ崎	九十	家数 17戸
			(奉納金)金百疋四百文 (守り札)大札二十六枚 (宿)鍵屋			
②	武州		●長戸呂村	三郷市鷹野	九十二	家数 22戸
			(奉納金)金百疋五百文 (守り札)大札三拾七枚 木札貳枚 但し見舞遣し不申 (宿)大野屋			
③		式合半領	●保村	吉川市保	百廿六	家数 34戸
			(奉納金)金壹分式朱 (守り札)大札五拾枚 (宿)大のや			

★弘化2年9月(1845) 「諸国講中記」 →新暦 弘化2年10月

	国名	領・郡	村名	現在地	講中番号
①		式郷半領	●前谷村	三郷市戸ヶ崎	四十三
			(奉納金)金百疋四百文 (守り札)大札廿六枚 (宿)かきや		
②	武州		●寄巻鎌倉	三郷市鷹野	五十九 (家数:寄巻47戸鎌倉20戸)
			(奉納金)金貳百疋 (守り札)大札六拾枚 (宿)駿河屋		
③		二郷半領	●保村	吉川市保	六十四
			(奉納金)金百五拾疋 (守り札)大札五拾枚 (宿)大のや		
④		式合半領	●戸ヶ崎吹上	三郷市戸ヶ崎	百四拾三
		安政二卯二月	(奉納金)金百五拾疋 (守り札)大札五拾枚 (宿)若松屋		

	六日	せ話人 城津主税之助 八塚七右衛門 加藤金五左衛門 大山市左衛門 竹内嘉吉 木津甚左衛門 田口市右衛門 三田弥五兵衛 木津喜兵衛
--	----	--

(資料5)

●「国名と州名」

県名	国名	州名	使用例 (ネーミング)
栃木県	下野 (しもつけ)	野州 (やしゅう)	
群馬県	上野 (こうずけ)	上州 (じょうしゅう)	上州名物空っ風、上州うどん
千葉県	安房 (あわ)	房州 (ぼうしゅう)	房州びわ、房州うちわ
	上総 (かずさ)	総州	
	下総 (しもうさ)		
茨城県	常陸 (ひたち)	常州	
埼玉県	武蔵 (むさし)	武州 (ぶしゅう)	
東京都			
神奈川県	相模 (さがみ)	相州	
長野県	信濃 (しなの)	信州 (しんしゅう)	信州大学、信州そば
山梨県	甲斐 (かい)	甲州 (こうしゅう)	甲州ワイン、甲州牛

●関八州 (かんはっしゅう)

・江戸時代、関東8か国の総称。相模(さがみ)・武蔵(むさし)・安房(あわ)・上総(かずさ)・下総(しもうさ)・常陸(ひたち)・上野(こうずけ)・下野(しもつけ)の8か国。



(資料 6)

●鬼越見張所の記録

出典：「明治3～4年葛飾県鬼越村見張所記録の分析と紹介」

「往復記録」

→新暦 明治4年1月～明治4年2月

	年月日	国名	郡名	村名	通行人	目的地	通行内容	
1	明治3年12月1日	武州	埼玉郡	喜曾根村	権四郎、茂左衛門	成田	参詣	往路
	明治3年12月3日	武州	埼玉郡	木曾根村	権次郎、茂左衛門	成田	参詣戻り	復路
2	明治4年1月25日	武蔵国	足立郡	花又村	清太郎、留治郎 外式人(計4名)	成田	参詣	往路
	明治4年1月28日	武州	足立郡	花又村	兵右衛門(1名)	成田	参詣戻り	復路
	明治4年1月29日	武州	足立郡	花又むら	権四郎外式人(計3名)	成田	参詣戻り	復路

「片道通行」(復路多数) →新暦 明治4年1月～明治4年3月

	年月日	国名	郡名	村名	通行人	目的地	通行内容	
●	明治3年12月1日	武州	武郷半領	★宮野村	長次郎 外老人	成田	参詣戻り	復路
●	明治4年1月14日	武州	足立郡	草加宿	亀吉	成田	参詣戻り	復路
		武州	埼玉郡	粕壁宿	森次郎	成田	罷帰り	復路
		武州		千住宿川原	和泉屋吉五郎	成田	参詣帰り	復路
●	明治4年1月17日	武州	足立郡	川口宿	平七平四郎 外三人	成田	参詣江行	
			中仙道	桶川宿	茂右衛門庄右衛門	成田	参詣戻り	復路
●	明治4年1月19日	武州	埼玉郡	越谷大竹村	与惣次	成田山	参詣戻り	復路
		武州		粕壁宿	岡田屋徳蔵 外老人	成田山	戻り	復路
●	明治4年1月20日	武州	葛飾郡	★平沼村	政吉、孫蔵	成田山	戻り	復路
		武州	埼玉郡	越谷東方村	新六幸右衛門吉左衛門	成田	参詣戻り	復路
●	明治4年1月27日	武州	足立郡	浦和宿	平兵衛福太郎 外五人	成田山	戻り	復路
		武州	葛飾郡	幸手宿	佐兵衛	成田山	詣	往路
		武州	葛飾郡	★上口村	彦二郎、長ノ助	成田	参詣	往路
		武州	埼玉郡	粕壁宿	佐右衛門	成田	参詣通り	往路
●	明治4年1月29日	武州	埼玉郡	須賀村	善太郎 外六人	成田講	戻り	復路
		武州	八丈領	四丈村	蔵助 外三人	成田	参詣戻り	復路
●	明治4年2月3日	武州	葛飾郡	★戸ヶ崎村	名主伊兵衛 外二人	成田山	参詣行戻	復路
●	明治4年2月7日	武州	武郷半領	★平沼村	清六、権兵衛	成田	参詣戻り	復路
●	明治4年2月9日		中仙道	大宮家山村	弥五衛門 外四人	成田	参詣戻り	復路

(資料 7)

●旅籠の記録

出典：「房総の道 成田街道」

「万延元年（1860）3月27日から、同年閏3月8日宿泊者数」（計12日間）

→新暦 万延元年 3月

・成田では、宿泊者の一括管理をしており、各旅籠屋の宿泊者を一冊の宿帳から知ることが出来る。

下総国	351人	上総国	226人
安房国	25人		
武蔵国	270人	江戸	124人
常陸国	180人	他	
合計	1,143人	1日当たり	95人余

・但し、江戸の人は、あまり成田に泊まることはなかった。

●文久元年（1861）8月 「旅人名前書留帳」

出典：「成田山新勝寺史料集第6巻」

→新暦 文久元年 9月

文久元年酉 8月17日・18日・19日

◆「二郷半領」

・8月17日

国名	郡名	村名	現在地	名主	宿泊者	人数	目的
武州	二合半領	★幸房村	三郷市幸房	権左衛門	新八・茂八	2人	当山参詣

・8月18日

	二合半領			彦右衛門組下	伊兵衛、同行式人	3人	当山参詣
--	------	--	--	--------	----------	----	------

・8月19日

武州	葛飾	★鎌倉村	三郷市鷹野	治右衛門組下	市五郎 外3名	4人	参詣
----	----	------	-------	--------	---------	----	----

●文久元年（1861）9月 「旅人御改名前書留帳」 →新暦 文久元年 10月

文久元年酉 9月10日・11日・12日・13日

◆「二郷半領」

・9月10日

国名	郡名	村名	現在地	名主	宿泊者	人数	目的
武州	かつしか郡	★丹後村	三郷市早稲田	武右衛門組下	庄八、秀五郎	2人	参詣
	武合半領	★吉屋村	吉川市吉屋	五郎兵衛組下	八右衛門、次兵衛	2人	
	武合半領	★鹿見塚村	吉川市鹿見塚	喜右衛門			
		★中井村	吉川市中井	次兵衛組下	弥五右衛門	1人	
		★皿沼村	吉川市皿沼	文蔵	新次郎	1人	

武州	葛飾郡	★上笹塚村	吉川市上笹塚	与右衛門組下	与三郎 外4名	5人	
		★土場村	吉川市土場	藤助 組下	清藏 外4名	5人	
		★里新田村	吉川市富新田	兵右衛門組下	八右衛門	1人	
		★加藤村	吉川市加藤	重右衛門組下	太郎右衛門	1人	

◆「武蔵国」

・9月10日

国名	郡名	村名	現在地	名主	宿泊者	人数	目的
武州	足立郡	川口宿	埼玉県川口市	伝十郎組下	新兵衛	1人	当山参詣
	千手在	花又村	足立区花畑	三治郎	兵左衛門	1人	参詣
武州	足立郡	赤山村	埼玉県川口市赤山	利兵衛組下	三次郎、三五郎	2人	当山参詣
武州	足立郡	土村	埼玉県さいたま市	幸右衛門組下	屋右衛門	1人	成田参詣仕候
武州	入間郡	南入曾村	埼玉県狭山市	万太郎組下	久藏	1人	参詣
武州	足立郡	大野新田		宇源治組下	亀五郎	1人	参詣
武州	埼玉郡	大佐松村	埼玉県春日部市	酉之助組下	久兵衛、乙治郎	2人	参詣
武州	埼玉郡	沖塚村		仁兵衛	弥右衛門、林藏	2人	参詣
武州	足立郡	鳩ヶ谷宿	埼玉県川口市	八郎兵衛組下	平藏、菊太郎	2人	参詣
武州	比企郡	松山宿	埼玉県東松山市	七兵衛	弥市	1人	参詣

・9月11日

国名	郡名	村名	現在地	名主	宿泊者	人数	目的
武州	埼玉郡	越ヶ谷宿	埼玉県越谷市	兵藏組下	弥兵衛	1人	当山参詣
武州	足立郡	中川村	埼玉県さいたま市	金藏配下	重左衛門	1人	当山参詣
武州		越ヶ谷宿	埼玉県越谷市	彦左衛門組下	金平	1人	当山参詣
武州	比企郡	下里村	比企郡小川町	与三郎配下	啓助	1人	当山参詣
	日光道中	粕壁宿	埼玉県春日部市	与市郎	留五郎 外3名	4人	当山へ参詣
武州	葛飾郡	松伏村	埼玉県松伏町	民部配下	角治郎	1人	当山へ参詣